株式会社MUNDIAL foods（卸売業・小売業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
リスボア・パウロ・セザル・デ

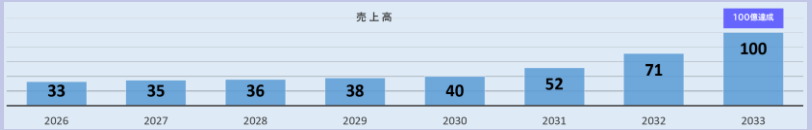
世界の食を日本へ、日本の価値を世界へ

当社は、世界各国の多様な食文化を日本に届けるとともに、ブラジルの食文化を活かした自社商品の開発・製造・販売を通じて成長してきました。多言語による顧客対応と商品提案を強みに、一人ひとりのお客様のニーズに応えてきました。
今後は、新工場の建設とDX・自動化によって供給力・品質管理を強化し、国内大口取引の拡大と自社商品の海外展開を加速します。多様な食文化をつなぎ、お客様・従業員・取引先と共に成長することで、2033年の売上高100億円を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年に売上高100億円の達成を目指す。新工場による供給力の拡大とDX・自動化による生産性・品質管理の向上を基盤に、国内大口取引の拡大、自社商品の拡充、海外販路の開拓を加速する。



課題

- 冷凍・冷蔵保管能力の不足による、大量仕入れ大口受注への対応力と商品のフレッシュさ・品質の維持向上に向けた体制の強化
- 加工スペース不足と入出荷・ピッキング作業の非効率性
- 大口取引先の要求に応える衛生・品質管理体制の強化
- 受発注・在庫等の情報連携と専門人材の確保
- 国内大口顧客の開拓と東南アジアへの輸出体制の構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

新工場による供給力強化：保管能力を312から812パレットへ約2.6倍に拡大し、大量調達と大口取引に対応
物流DX・自動化：搬送・在庫管理・ピッキングを効率化し、1日当たりの受注対応能力を105件から150件へ向上
食品加工・品質管理の強化：加工・検査設備の導入とHACCPに沿った衛生管理を推進し、国際規格ISO認証を取得
国内販路・自社商品の拡充：既存顧客の取扱量増加と大口顧客の開拓、自社商品の開発・販売を推進
海外販路の開拓：タイ向け商談を足掛かりに東南アジア市場へ展開

実施体制

経営主導の推進体制：代表取締役を中心に各部門が連携し推進
DX・衛生管理の推進：システム・HACCP担当者を中心に業務効率化と品質管理を強化
多言語営業体制：在日ベトナム人市場への対応実績を活かし、インドネシア語等の対応人材を需要に応じて増員し、販路を拡大
人材確保・育成：新工場の稼働に必要な人材を確保し、設備操作・食品衛生等の教育を推進
経営管理の強化：売上高・生産性・品質等の進捗を確認し、経営判断と改善、成長成果を賃上げに還元



在日外国人コミュニティのニーズに応える食品を中心とした取扱商品

〇本社所在地：静岡県掛川市
〇事業概要：食品の輸入・製造・卸売、自社ブランド食品の企画・開発・販売
〇常時使用する従業員：31名
（2026年9月時点）
〇現在の売上高：33億円
（2026年3月期）
〇法人番号：4080401018720
〇Web：https://mundialfoods.co.jp/

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです